



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一朶の目的を目指し」

第2280回 移動例会

2019-5-22～23

志木RC 親睦旅行例会

～金沢・和倉温泉・輪島方面～



左／千里浜なぎさドライブウェイにて記念撮影(一日目)
 下／キリコ会館(祭り会館)見学(二日目)

	大宮駅 <u>JR 新幹線かがやき 505</u> 金沢駅 〰〰〰〰
	イタリアンフレンチ料理「四季彩 Mocco」(昼食)
5/22	〰〰〰〰 <u>のと里山海道</u> 〰〰〰〰 <u>千里浜なぎさドライブウェイ</u>
(水)	＝白尾 IC 〰〰〰〰 千里浜 IC 〰〰〰〰
	千里浜レストハウス(休憩) 〰〰〰〰 西山 IC
	敵門めぐり(散策)＝和倉温泉「のと楽」(泊)
5/23	宿＝輪島塗の稲忠(見学)＝輪島の朝市(散策)
(木)	＝キリコ会館(見学)＝「やぶ 新橋店」(昼食)
	＝のと里山空港 IC＝道の駅高松(休憩)＝
	金沢駅(買物) <u>JR 新幹線かがやき 536</u> 大宮駅(解散)



5月は 青少年奉仕月間 です



金沢市のイタリアンフレンチ「四季彩 Mocco」で昼食

影山親睦委員長と奥様、たいへんお世話になりました

地区研修・協議会(5/19) 於・埼玉工業大学



生憎のうねりで遊覧船が出ず、散策した「巖門めぐり」

地区研修・協議会に志木RCから9名で出席しました

志木ロータリークラブ

会長/林 康雄

副会長/高橋健一郎

幹事/市之瀬正靖

◇2280-2

会報委員会 委員長/三上隆俊

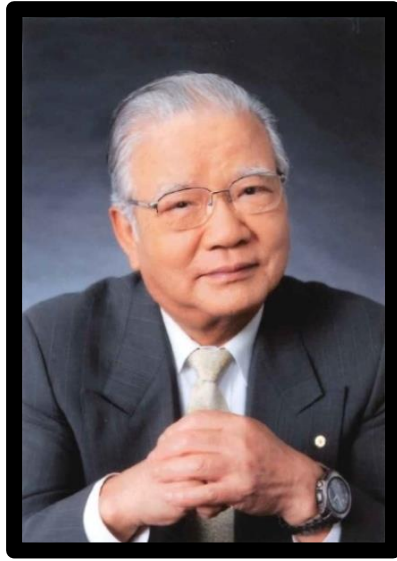
副委員長/上原 実

委員/遠藤貴博

西浦建貴

山口幸男 宮田泰彦

山口幸造会員を偲んで



R C 歴

1983(昭和 58)3.3 入会
1999~2000 志木 RC 第 28 代会長
2010~2011 地区大会実行委員
米山功勞 3 回
1995.8 ポール・ハリス・フェロー
1999.11 ベネファクター

「追憶」 尾崎 征男

皆さん知っていますか…、3 階階段を上り詰め例会場入口左に大型の鏡がある事を「笑いの鏡」と呼び私は帽子着用から必ず使用しています、身だしなみと気持ちを整えるためです。

クラブからの Fax により山口さんの訃報が知らされ驚いき、思い出が走馬灯のように浮かんだ。

3 月末の例会場での会話に「尾崎さん 階段昇の辛くなったよ…」尾崎さんはどうかと聞かれた。私も時折辛く感じる事はあるけど…、入口の「笑いの鏡」に自分の姿を映すのを楽しみに頑張っているよ。そうですか利用してくれているの…、笑顔となった。

それは、鏡は山口さん会長時代に設置したもので日頃、規律正しく正装で出席され、ネクタイを外し姿は思い出せない。何時もキリリとして礼儀正しく品位の有る行動はロータリアンの鏡の人であった。

また活動の一つに、職業奉仕活動に。特に見識の持ち主であった、それは 2002~03 と 2007~08 年度の志木 RC・志木柳瀬川 RC 合同職業奉仕委員長として 2 年間「会員・私の職業倫理と職業紹介」の冊子 2 冊発刊に尽力された、成果と内容は会員間の職業内容の情報を知り、一層の交流を深められればの思いからと目的が綴られている。一読するに、両クラブ全会員からの原稿を集め纏められたご苦勞と指導力に頭が下がる思いがある。

一方、クラブ外の事である。志木駅前商店会の店主の組織「十六夜会」という会がある、会長は井下田慶一郎(志木 RC 第 5 代会長)氏を中心に運営され 50 年以上の歴史あり、山口さんは昭和 58 年頃 RC 入会共に入会されたと思う。平成 25 年会合の時、私は幹事、本人より旅行と重なり欠席する旨の連絡と、酒 1 升届けられ、更に会の終了報告に対して礼状を戴いた、その一枚の葉書(写真)を紹介したい。見るに付け山口さんの律儀な人であった事がわかる。

山口幸造会員を偲んで

また、故、バストガバナー西川武重郎様の起業した社会福祉法人ルフトホフ志木の役員として山口、内田、私、3人が推挙され共に20年間共にした。毎年開催される役員会の席上、経営上の諸問題の指摘は勿論の事、特に働く側の立場に立ち責任を持った行動の大切さ3K(きつい・汚い・危険)について鼓舞しておられた姿を思い出す。これは山口さんの経営者としての一端を知る言葉として関係者は重く受け止めていた。

だが、思い出は良い事ばかりではない、RCでの事である。

元会員のご子息の会員推薦の依頼を山口さんと私は受け、全会員に公開の手続きに至ってから、数名の方と反対に回ったのである。(今もって理由は知らない) 私は反対理由を知らず板挟みに陥り困った。数十日の後、候補者から入会辞退で収まったが、私とのシコリが残った。(山口さんは一本の筋を持っていた)

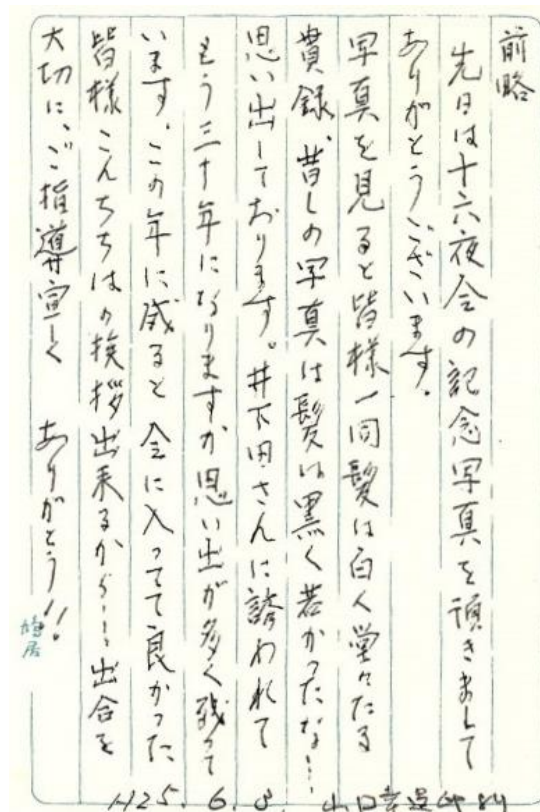
時は過ぎ数年前の年忘れ例会、上野・東天紅での例会の事である。余暇時間の席上、私はマイクを持ち、会場からの外の景色を見て若い頃の思い出を呼び起こした。お酒の手伝いも有ったのだが、不忍の池の淵でギターを弾く、20代の自分を思い出した。当時、ロカビリーは少し下火であったかと思うが、時には、喫茶店、新宿ACBに、時には池袋ドラムへ。坂本九、小坂一也、平尾昌明、ミッキーカーチス等の追っかけをしていたと、話したのを山口夫婦は帰宅後。家庭での話題となったよと…。

数日後、話しかけられた。尾崎さんは意外な子供の頃の思い出を持っていたんだね…と話され、そこに山口さんの笑顔を見た。あの笑顔は数年前、東町の夏祭りの年番長の重責から解放された時の笑顔がそこにあった気がした。その笑顔は今までの氷壁を溶かした瞬間でもあった。

思い出は尽きない、過ぎ去った日々は楽しい思い出としてロータリークラブでの出会いが取り持った仲間、何という美しいものであろうか…。

この辺でお許しを戴き、これまでの友情に感謝し茲に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



送られてきた礼状



2018.7.4.(第2239回例会)